

### FIA フォーミュラ・ワン世界選手権への参戦について ～Aston Martin Aramco Cognizant Formula One® Team へ 2026年からパワーユニットを供給～

Honda は、2026年からFIA<sup>※1</sup>フォーミュラ・ワン世界選手権（以下、F1）に参戦し、Aston Martin Aramco Cognizant Formula One<sup>®</sup> Team（アストンマーティン・アラムコ・コグニザント・フォーミュラ・ワン・チーム）と2026年から施行される新レギュレーションに基づくパワーユニットを供給するワークス契約を結ぶことで合意しました。

F1 は、2030年のカーボンニュートラル実現を目標として掲げており、2026年以降は、100%カーボンニュートラル燃料の使用が義務付けられるとともに、最高出力の50%をエンジン、50%を電動モーターで賄う形となり、現在<sup>※2</sup>と比べて出力に占める電気エネルギーの比率が大幅に高められることとなります。

具体的には、2026年からエンジンの出力を抑える一方で、走行するマシンから減速時などにエネルギーを回収して電気エネルギーに変換する、エネルギー回生システム（ERS）の出力を現在の3倍に引き上げ、エンジンとモーターの最高出力が同等となるシステムとなります。

このレギュレーション変更は、Hondaのカーボンニュートラルの方向性に合致し、その実現に向けた将来技術の開発に大きな意義を持つことから、新たに参戦を決定しました。

2022年からHondaのモータースポーツ活動の全てを担う、株式会社ホンダ・レーシング（HRC）が、F1パワーユニットの開発とレース参戦・運営を行います。

**HONDA**



cognizant<sup>®</sup>

FORMULA ONE<sup>®</sup> TEAM

aramco

## ■本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏のコメント

F1が、Hondaの目指すカーボンニュートラルの方向性と合致する、サステナブルな存在となり、私たちの電動化技術を促進するプラットフォームになること。これが、Hondaとして再びF1にチャレンジする大きな理由の一つとなりました。

Hondaは世界のレースに挑戦し、勝利することで成長してきた企業です。2026年からの新レギュレーションでは、小型・軽量・高出力のモーターや、大電力を扱える高性能バッテリーとそのマネジメント技術が勝利への鍵となりますが、ここから得られる技術やノウハウは、電動フラッグシップスポーツを始め、これからの量産電動車の競争力に直結する可能性を秘めています。さらに、現在研究開発を進めているeVTOLなど、さまざまな分野にも生かすことができると考えます。

新たなパートナーとなるAston Martin Aramco Cognizant Formula One<sup>®</sup> Teamとは、勝利への真摯な姿勢と情熱で大いに共感し、Aston Martin Aramco Hondaとして、2026年からともにチャンピオンを目指すことになりました。

地球環境の保全とレース活動が共存できるよう、チャレンジングな新レギュレーション導入の英断を下されたFIA、また、F1のブランド価値を高め、発展させてきたFormula One Group<sup>※3</sup>には大きな敬意を表します。

## ■Aston Martin Aramco Cognizant Formula One<sup>®</sup> Team 会長 ローレンス・ストロール氏のコメント

Aston Martin Aramco Cognizant Formula One<sup>®</sup> TeamはHondaとHRCを歓迎します。私たちは、レースでの勝利に向けた熱意と決心、そして飽くなき野心を互いに共有しています。Hondaは世界的な企業であり、長年にわたるモータースポーツにおける成功は、信じられないほど素晴らしいものです。2026年からともにエキサイティングな未来に乗り出すにあたり、三部氏、渡辺氏、そしてHRCのチーム全員に感謝したいと思います。

## ■株式会社ホンダ・レーシング 代表取締役社長 渡辺 康治のコメント

カーボンニュートラル社会への移行という大きな環境変化を迎える中、将来にわたってモータースポーツがHondaの強みであり続けるために最適な体制を考え抜いた答えが、HRCです。持続的なレース体制を構築し、世界中のモータースポーツファンへ夢と感動をお届けしていきます。

## ■Aston Martin Performance Technologies Group CEO マーティン・ウィットマーシュ氏のコメント

私は、キャリアの中で長年Hondaと仕事をする機会に恵まれてきました。2026年からHRCとAston Martin Aramco Cognizant Formula One<sup>®</sup> Teamがパートナーを組むことを大変嬉しく思います。Aston MartinのF1における野心的な計画にとって、Hondaとのワークスパートナーシップはジグソーパズルの最後のピースの1つです。2026年のF1パワーユニットに関する新しいレギュレーションは、非常に大きく重要な変化ですが、私たちはともに乗り越え、成功することができるかと確信しています。戦略的パートナーであるAramcoも含め、共通の目標に向かってオープンなコラボレーションができることを楽しみにしています。最後に、今後数シーズンにわたって提携を続ける現在のパワーユニットサプライヤーに敬意を表したいと思います。

※1 Fédération Internationale de l'Automobile(国際自動車連盟)の略称

※2 2023年現在のレギュレーションでは、最高出力における電動モーターの比率は20%弱に留まる

※3 F1の商業権を管理するFormula One Administration (FOA) や、プロモーションおよびマーケティングを統括するFormula One Management (FOM) など、F1の事業領域全般を統括する組織

## 【Honda の主な F1 活動】

1964 年～1968 年	エンジン・車体を含めたオール Honda として参戦 1965 年メキシコ GP で初優勝
1983 年～1992 年	エンジンサプライヤーとして参戦 1986 年に Williams Honda としてコンストラクターズタイトルを獲得、 1987 年にはドライバーズチャンピオンとコンストラクターズチャンピオンのダブルタイトル獲得 1988 年から 1991 年まで、McLaren Honda として 4 年連続でドライバーズチャンピオンとコンストラクターズチャンピオンのダブルタイトル獲得
2000 年～2005 年	B・A・R Honda としてエンジン供給と車体の共同開発による参戦
2006 年～2008 年	エンジン・車体を含めたオール Honda として参戦
2015 年～2017 年	パワーユニットサプライヤーとして参戦。McLaren にパワーユニットを供給
2018 年	Scuderia Toro Rosso (現 Scuderia Alpha Tauri) にパワーユニット供給を開始
2019 年	Red Bull Racing にパワーユニット供給を開始
2021 年	Red Bull Racing のマックス・フェルスタッペン選手がドライバーズチャンピオン獲得 F1 参戦を終了
2022 年	Red Bull Powertrains へ HRC が技術支援を開始 Red Bull Racing とマックス・フェルスタッペン選手がコンストラクターズチャンピオンとドライバーズチャンピオンのダブルタイトル獲得

## 【Aston Martin Aramco Cognizant Formula One® Team の概要】

所在地: 英国ノーサンプトンシャー州シルバーストーン (Silverstone, Northamptonshire, United Kingdom)  
代表: マイク・クラック (Mike Krack)  
初参戦: 2021 年  
公式 Web サイト: <https://www.astonmartinf1.com/>